

久保田金徳 くぼた かねとく 日本畫家、舞臺美術家。明治八年九月十九日京都  
生れ、昭和二十九年十月九日没（八五—九五）。諱満喜、通稱生田郎。  
別號金仙、金麟。久保田米徳の次男。兄久保田米齋と共に畫業の傍ら  
舞臺装置の携はる。松坂屋勤務、上野店宣傳部長となり昭和五年小退  
職。

著書『日清戰亂畫報・凱旋縮』（久保田金仙名、久保田米徳合著、明  
治二十八年八月八日大倉書店）、『下谷上野』（編、昭和四年四月一  
日松坂屋）、『日本のまごころ』（昭和十二年十一月、千代田審美書院）  
等。